

口腔健康支援法基礎		歯科衛生学科		3年前期		
		1単位		実習	45時間	
[教員]：阿尾 敦子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	従来の歯科衛生士と患者との関りは、処置・指導の提供という視点からなされてきたため、内容も画一的で標準的なものが多く、必ずしも個々のニーズに対応できていなかったのが現状である。この授業では、「保健指導法Ⅱ」で学んだ知識を生かし、歯科衛生過程を活用して患者個々のニーズに合わせたケアを提供する力を養う。					
授業方法	歯科衛生過程に沿いながら、症例を使って講義と演習を進めていく授業です。グループ演習では、歯科衛生過程を活用し、活発な討議をおこなう。					
到達目標	1. [知識・理解] 歯科衛生過程の考え方と構成が理解できる。(◎) 2. [知識・理解] 歯科衛生過程の流れを理論的に説明できる。(◎) 3. [思考・判断・表現] 演習をとおしてアセスメント・歯科衛生診断・計画立案・実施・評価までの検討をすることができる。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 自ら問題点を解決する意欲を持ち、積極的に取り組める。(△)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	定期試験	40	-	-	-	40
	演習	-	30	-	-	30
	課題	-	20	-	-	20
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	40	50	-	10	100
成績評価と割合	定期試験(40%)、演習(30%)、課題(20%)、受講態度(10%)の合計で評価します。欠席、忘れ物は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『よくわかる歯科衛生過程』医歯薬出版 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版					
参考書・教材	必要な資料は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	「歯科衛生過程とは」 ・授業ガイダンス ・歯科衛生過程の考え方とその意義を確認する ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデルを理解する [準備・課題]学んだ内容を復習する(2h)					
2	「歯科衛生アセスメント1」 ・アセスメントの構成要素と流れを理解する ・情報収集を行う [準備・課題]学んだ内容を復習する(2h)					
3	「歯科衛生アセスメント2」 ・情報の整理をおこなう ・情報の分析をおこなう [準備・課題]学んだ内容を復習する(2~3h)					
4	「歯科衛生診断1」 ・歯科衛生診断文の書き方、記載ルールについて理解する ・歯科衛生診断文を作成する [準備・課題]学んだ内容を復習する(2h)					
5	「歯科衛生診断2」 ・グループ演習 アセスメントをグループでおこなう ・グループ演習 歯科衛生診断をグループでおこなう [準備・課題]グループレポートまとめ(2h)					
6	「歯科衛生診断3」 ・グループ演習 アセスメント～歯科衛生診断の振り返りと修正をグループでおこなう 「歯科衛生計画立案1」 ・グループ演習 優先して取り組むべき診断文を選択し、長期目標を設定する [準備・課題]グループレポートまとめ(2h)					
7	「歯科衛生計画立案2」 ・グループ演習 短期目標(期待される結果)を設定する [準備・課題]グループレポートまとめ(2h)					
8	「歯科衛生計画立案3」 ・グループ演習 介入計画を立てる [準備・課題]グループレポートまとめ(2h)					
9	「歯科衛生介入1」 ・POSとPOMRの考え方について理解する ・SOAP(IE)での業務記録の記載方法について理解する ・グループ演習 業務記録を記載する [準備・課題]グループレポートまとめ(2h)					
10	「歯科衛生評価」 ・評価の意義、評価のための情報収集法について理解する ・達成度の評価、ケアプランの見直し、患者へのフィードバックについて理解する					
11	「歯科衛生過程 まとめ1」 ・歯科衛生過程(アセスメント、歯科衛生診断、計画立案)の一連の流れを事例を応用して演習する [準備・課題]各自で歯科衛生診断までをおこない、疑問点をまとめる(2h)					
12	「歯科衛生過程 まとめ2」 ・歯科衛生過程でわかりにくいところを再度確認する [準備・課題]総合的なまとめの復習(2~3h)					
時間外での学習	毎回の授業が歯科衛生過程の一連の流れに沿って進んでいくため、次の授業に未解決な内容が残らないように復習をしておいてください。					
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士として、計画的で論理的なケア過程を実践できるよう、これまで学んできた知識を活用して積極的に授業に取り組んでください。オフィスアワーは研究室で木曜5限目です。					

口腔健康支援法応用		歯科衛生学科		3年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：水嶋 広美・阿尾 敦子・今井 藍子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期に口腔健康支援法基礎で学んだ歯科衛生過程の一連の流れを実践に実践し、患者個別のケアプランニングをおこなえるようにしていく。さらに自分が実施した患者個別のケアプランニングについて、プレゼンテーションする能力を養う。					
授業方法	歯科衛生過程を実践できる症例を1症例探し、アセスメントから計画、実践、プレゼンテーションまでをグループでおこなっていく。個別の症例に合わせてグループ指導をおこなう。					
到達目標	1. [知識・理解] 歯科衛生過程の流れを把握し、患者個々に合わせたアセスメントやケアプランが立てられる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 正確な歯科衛生診断をし、症例のプレゼンテーションができる。(○) 3. [技能] グループで話し合い、患者個々に合わせたケア計画の立案ができる。各症例に合わせたコミュニケーションの基礎をふまえたケアが実施できる。(○) 4. [関心・意欲・態度] グループ内での役割を理解し、自ら考え、積極的に授業に参加できる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	グループ課題	40	-	-	-	40
	プレゼンテーション	-	20	-	-	20
	相互実習	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	40	20	20	20	100
成績評価と割合	グループ課題40%、プレゼンテーション20%、相互実習20%、受講態度20% の合計100%で評価します。欠席、忘れ物は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『よくわかる歯科衛生過程』医歯薬出版 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版					
参考書・教材	前期の口腔健康支援法基礎で使用した資料を持参してください。その他必要な資料は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	<b>ガイダンス</b> ・歯科衛生過程全体の流れを確認する ・データの収集方法の確認と記録用紙の作成をおこなう [準備・課題]情報収集の方法を復習し、実施できるよう準備する (2~3h)					
2	<b>アセスメント1</b> ・対面行為でS情報、O情報の収集・整理をおこなう [準備・課題]得られた情報をまとめる (2h)					
3	<b>アセスメント2</b> ・対面行為でS情報、O情報の収集・整理をおこなう [準備・課題]得られた情報をまとめる (2h)					
4	<b>アセスメント3</b> ・整理された情報から問題点を分析する [準備・課題]分析結果をまとめる (2h)					
5	<b>歯科衛生診断</b> ・症状・徴候(問題)と病因・原因を分析し、歯科衛生診断をおこなう <b>計画・立案1</b> ・目標、歯科衛生士の介入内容を検討し、ケアプランを作成する [準備・課題]ケアプランをまとめる (2h)					
6	<b>計画・立案</b> ・ケア実施のための準備をおこなう [準備・課題]ケアの具体的な内容を計画し、実施できるよう準備する(2~3h)					
7	<b>歯科衛生ケアの実施</b> ・初回ケアを実施する ・実施内容をSOAPで業務記録作成する [準備・課題]業務記録を完成させる (2h)					
8	<b>ケア実施後の評価</b> ・評価に必要なS情報、O情報の収集をおこなう ・目標・期待される結果の達成度評価、ケアプランの見直しをおこなう <b>症例発表</b> ・症例のプレゼンテーションを作成し発表する					
時間外での学習	グループ形式で授業を進めていきます。毎回の手順や内容について事前に確認・計画をしておいてください。特に[準備・課題]として示した内容は、各個人で責任をもって計画しておいてください。					
受講学生へのメッセージ	前期の「口腔健康支援法基礎」で身に付けた知識を活かし、グループワークなど積極的に授業に参加してください。オフィスアワーは木曜日の5限目です。					

地域歯科保健活動Ⅱ		歯科衛生学科		3年前期		
		1単位		実習	45時間	
[教員]： 縄田 理佳・久本 たき子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	地域住民の日常生活をよりよい方向へ導くことは、口腔の健康の維持・増進のためにはきわめて重要なことです。この授業では、『ヘルスプロモーション』理論を理解したうえで、地域住民の日常生活をよりよい方向へ導くために必要な知識、技術の修得をします。また、地域歯科保健活動Iで学習した内容を地域の小学校において歯科健康教育の実践をすることが目標となります。					
授業方法	グループ演習・実習が中心となります。学生同士でのコミュニケーションを密にすることで、実習への積極的な参加につながります。					
到達目標	1. [知識・理解] 地域社会に貢献するために、小学校の歯科健康教育実習実践における準備及び実施後の自己評価を行う。また、青年期・成人期の特徴や歯科保健指導を説明できる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 歯科健康教育についてプレゼンテーションを行うことができる。(△) 2. [技能] 歯科衛生士としての集団へのブラッシング指導技術を身につける(△) 3. [関心・意欲・態度] 医療人としての身だしなみを整え、自己管理ができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験(定期試験)	65	-	-	-	65
	小テスト	5	-	-	-	5
	実技試験	-	-	5	-	5
	グループ発表	-	5	-	-	5
	受講態度	-	-	-	20	20
合計	70	5	5	20	100	
成績評価と割合	筆記試験(定期試験) 65%、小テスト 5%、実技試験 5%、グループ発表 5%、受講態度 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版 『最新歯科衛生士教本 保健生態学』医歯薬出版 『歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第8版』医歯薬出版					
参考書・教材	特にありません。必要に応じ、プリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	小学校における地域歯科健康教育① 教育目標・教育内容に沿った原稿と媒体であるかを確認する。 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点について学ぶ。 [準備・課題]地域歯科健康教育を行なう場合の注意点について復習する。(2h)					
2	小学校における地域歯科健康教育② 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、練習をする。 [準備・課題]授業で練習した内容で技術的に不足している項目を復習する。(2h)					
3	小学校における地域歯科健康教育③ 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、練習をする。 [準備・課題]授業で練習した内容で技術的に不足している項目を復習する。(2h)					
4	小学校における地域歯科健康教育④ 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、練習をする。 *担当教員チェック [準備・課題]担当教員による指導項目について復習する。(2h)					
5	小学校における地域歯科健康教育⑤ 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、仕上げをする。 *担当教員チェック [準備・課題]担当教員による指導項目について復習する。(2h)					
6	小学校における地域歯科健康教育⑥ 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、仕上げをする。 *担当教員チェック *実習先小学校教諭との事前打合せ会用の計画書を作成する。 [準備・課題]担当教員による指導項目について復習する。(2h)					
7	小学校における地域歯科健康教育 予行演習①現場を想定して予行演習を行なう。 *学内発表 [準備・課題]予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を復習する。(2h)					
8	小学校における地域歯科健康教育 予行演習② 現場を想定して予行演習を行なう。 *担当教員チェック *実習先小学校教諭との事前打合せ会(リーダー・サブリーダー) [準備・課題]現場を想定した予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を復習する。(3h)					
9	小学校における地域歯科健康教育 予行演習③ 現場を想定して予行演習を行なう。 *担当教員チェック *実習先小学校教諭との事前打合せ会内容を班員に申し送る。 [準備・課題]現場を想定した予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を復習する。(2h)					
10	小学校における地域歯科健康教育 予行演習④ 現場を想定して予行演習を行なう *担当教員最終チェック [準備・課題]現場を想定した予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を復習する。(2h)					
11	小学校における地域歯科健康教育のまとめおよび青年期・成人期の健康教育 *青年期以降のライフステージ別の一般的特徴・歯科保健指導について解説する。 小学校での地域歯科保健指導実習の改善点を検討し学内でのグループ発表の準備・練習を行なう :担当教員のチェック [準備・課題]次回の発表原稿を復習し、役割分担を確認する。(2h)					
12	小学校実習における発表を学内で再現し行う。(学齢期における集団指導) [準備・課題]青年期以降のライフステージ別の一般的特徴・歯科保健指導についてまとめる。(2h)					
時間外での学習	定められた授業時間では上達しないので、授業時間外での練習も必要です。積極的に練習を積み重ねていってください。					
受講学生へのメッセージ	グループ活動が中心となるため、グループ内の連携が重要となります。授業には積極的に参加し、自らの知識・技術の向上を目指すことを期待します。 オフィスアワーは、研究室(G304:G号館3F) 火曜日5時限と研究室(G405:G号館4F) 木曜日5時限です。					

審美歯科	歯科衛生学科		3年前期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：水嶋 広美・縄田 理佳						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	近年、口腔の美しさへの要望が高まり、歯科衛生士の臨床においても健康の回復・維持のみならず、審美性への配慮が強く求められている。この授業では、診療補助の精度の向上や、基本的な治療技術あるいは器材に関する知識などに焦点を向け、審美歯科領域における歯科衛生士の役割の重要性について学んでいく。					
授業方法	講義にて知識や手技の要領を理解し、実習を中心に行っていきます。審美歯科専門医をゲストに実践的な実習も入れながら、ホワイトニングの技術、知識を身につけていきます。					
到達目標	1. [知識・理解] 審美歯科領域における、歯科衛生士の役割について述べる。(◎) 2. [知識・理解] 口腔筋機能療法の活用と効果を理解し、その訓練法を説明しながら実施する。(◎) 3. [知識・理解] 矯正歯科、インプラント治療における審美歯科としての役割について述べる。(◎) 4. [知識・理解] ホワイトニングの種類とその適応、使用器材を説明する。(◎) 5. [知識・理解] ホワイトニングの前準備からアフターケアまでの手順を理解し説明、実施する。(◎) 6. [技能] ホームホワイトニングに使用する、カスタムトレーの制作方法に取り組むことができる。(◎) 7. [関心・意欲・態度] 実習ごとに課題レポート作成に取り組むことで、審美歯科について関心を持ち、積極的学習に取り組むことができる。(△)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	60	-	-	-	60
	レポート課題	-	-	20	-	20
	製作物	-	-	10	-	10
	履修カルテ	-	-	-	10	10
	合計	60	-	30	10	100
成績評価と割合	筆記試験 60%、レポート課題(内容・提出状況) 20%、製作物 10%、履修カルテ(毎回) 10% の合計 100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生に単位を与えません。					
テキスト	『月刊「デンタルハイジーン」別冊 健康で美しい口腔をつくる 歯科衛生士のための審美歯科入門』医歯薬出版					
参考書・教材	日本歯科審美学会 監修『コーディネーターのためのホワイトニングマニュアル すべての人に白い歯を』 口腔保健協会 ¥3,400+税 その他資料は適宜、配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	審美歯科領域における歯科衛生士の役割(矯正治療時の補助・介助 口腔筋機能療法の種類と方法) [準備・課題]学習内容を復習してまとめる(2h)					
2	ホワイトニングについて(ホワイトニングの種類と基礎知識について) ホワイトコート知識、手順を学び、実際に実習を行う。 [準備・課題]ホワイトコートの種類、手順、薬剤・器材の取り扱いを復習してまとめる(2h)					
3	ホワイトニングに必要な作業用模型の作製(使用するトレーを作製するための模型作製の相互実習) [準備・課題]実習内容を復習してまとめる(2h)					
4	ホワイトニングのメカニズム、手順、ホワイトニング後の評価と指導について学ぶ。 ホームホワイトニングについて(ホームホワイトニングの前準備と手順、マウストレー作製について実習) 矯正器具の取扱いについて、実習を行う。 [準備・課題]ホームホワイトニング、矯正器具について復習してまとめる(2h)					
5	インプラント治療の実際と歯科衛生士の役割(術式と使用する器材の理解。アシスタントの役割について) [準備・課題]インプラントについて復習してまとめる(2h)					
6	審美歯科領域におけるメンテナンス(審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークの重要性について) [準備・課題]学習した内容を復習してまとめる(2h)					
7	ホワイトニング実践(歯の色の測定法、オフィスホワイトニング・ホームホワイトニングの実践と使用器材とその手順について) [準備・課題]ホワイトニングで実習内容を復習してまとめる(2h)					
8	審美歯科まとめ(日本歯科審美学会認定士、ホワイトニングコーディネーターの役割、まとめ) [準備・課題]学習内容を復習してまとめる(2h)					
時間外での学習	授業の各回での課題の内容を確実に学習しましょう。レポートについては、内容の不備、誤字脱字のないようにしてください。					
受講学生へのメッセージ	外部講師の方の授業もあります。積極的な受講態度と授業のマナーを守った態度で受講してください。オフィスアワーは、研究室(G306:G号館3F)で毎週木曜日の16:20から17:20です。					

臨床・臨地実習Ⅱ		歯科衛生学科		3年前期		
		7単位		実習	315時間	
[教員]：久本 たき子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	知識や技術を臨床の場で展開しつつ、あらゆる場面で応用できる能力が養えるように、各実習施設における実習を行う。さらに、実習施設によっては、他職種への理解を深め、歯科衛生士との関わりについても学ぶ。実習施設は、歯科医院、保健センター、小学校、高等学校、高齢者通所施設である。					
授業方法	学外の各実習施設にて実習を行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 地域の健康支援に関わる歯科衛生士の役割を述べ、専門的知識を修得する。(◎) 2. [技能] 症例に応じた器材を準備し歯科診療の介助を行い感染予防を実践し、対象に合わせた歯科保健指導を実施する。(◎) 3. [関心・意欲・態度] 医療人として日常の自己管理に心がけ、主体的な学びから職業的使命感をもつことができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 毎月の臨床実習における学びと反省について自己評価を行い、担当教員に提出する。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実習日誌	35	-	-	-	35
	各臨床実習施設の評価	-	-	40	-	40
	受講態度	-	-	-	20	20
	毎月の自己評価表の提出率	-	-	-	5	5
	合計	35	-	40	25	100
成績評価と割合	実習日誌 35%、各臨床実習施設の評価 40%、自己評価提表の提出率 5%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席・遅刻は減点します。欠席した場合、補充を必ず課します。					
テキスト	実習日誌の作成には、1、2年生時に購入したテキストが必要になります。					
参考書・教材	特にありません。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	<第1週～第15週> ・臨床実習ガイダンス・臨地実習ガイダンスを行う。 実習施設は以下の通りである。 ・歯科医院における実習 ・保健センターにおける実習 ・小学校における実習 ・高等学校における実習 ・高齢者通所施設における実習 ・公衆衛生活動実習					
時間外での学習	実習日誌の作成においては、専門用語を使用した内容で記述するようにします。常に教科書等で確認し、記述内容を知識として修得してください。毎月、自己評価表を短大に提出します。学外実習に対する自己評価です。自己の振り返りから、成長できるようにしましょう。手技・操作の未熟な点は、登校時に時間を有効活用し確実にしてください。また、保健センター実習や高齢者通所施設実習では、事前に他職種の業務について理解を深めておくようにします。					
受講学生へのメッセージ	歯科医院実習では、必ず1週間の行動目標を立て、その目標達成のために努力を惜まず、積極的に実習に臨みましょう。常に実習生としての自覚ある行動をしてください。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。					

臨床・臨地実習Ⅲ		歯科衛生学科		3年後期		
		6単位		実習	270時間	
[教員]：岩田 千鶴子・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・村田 宜彦・飯岡 美幸・縄田 理佳・三角 洋美・今井 藍子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	修得した臨床歯科医学を基に歯科衛生士として、より実践的な知識、技術、態度を身につけるよう各実習施設における実習を行う。また、総合病院での実習に関しては、他職種への理解を深め、総合病院における歯科衛生士の役割について学び、一般歯科医院との相違点について理解する。実習施設は、歯科医院、総合病院、介護老人福祉施設、特別支援学校等 専修クラスにより異なる					
授業方法	学外の各指定の実習施設にて実習する。					
到達目標	1. [知識・理解] 全身疾患の有無や生活習慣等の情報収集により、患者の問題点を抽出しその解決法について述べる。また、歯科医院で起こる偶発事故の原因と対処法を述べる。(◎) 2. [技能] 患者の安全に配慮した共同動作を実施し、症例に応じた器材を準備し歯科診療の介助を行う。(◎) 3. [技能] 1年間の臨床実習の学びと反省点を報告し、次年度生に臨床実習の心構えを伝え、コミュニケーション能力を身につける。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 医療人として、日常の自己管理ができ、職業的使命感を持つことができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実習日誌・レポート作成	35	-	-	-	35
	各実習施設からの評価	-	-	40	-	40
	実習報告発表	-	-	5	-	5
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	35	-	45	20	100
成績評価と割合	実習日誌・レポート作成 35%、各実習施設からの評価 40%、実習報告発表 5%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席・遅刻は減点とする。欠席した場合は補充を必ず課します。					
テキスト	1.2年生時に購入したテキストが必要になります。					
参考書・教材	各専修クラス担当教員より、その都度資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	第1週～第8週 ・実習施設ガイダンス 各専修クラス、総合病院、保健センターのガイダンスを行う。 ・各専修クラスでは、毎週登校時、事前学習・事後学習を行う。 ・総合病院専修クラス指定病院にて実習する。 ・専門的口腔ケア専修クラス指定施設にて実習する。 ・審美歯科専修クラス指定歯科医院にて実習する。 ・総合歯科専修クラス指定歯科医院にて実習する。					
時間外での学習	実習日誌やレポート作成は、専門用語を使用した記述内容にすること。必ず教科書等で確認し、記述内容を確実にすることが肝要です。手技・操作で未熟な点は、登校時に積極的に自習して下さい。各実習施設における対象者の把握は、事後学習でテキスト等で確認しておくようにします。					
受講学生へのメッセージ	最終実習になるので、Ⅰ・Ⅱ期に修得できなかった実習項目は、実施できるように積極的な姿勢で臨んで下さい。どの実習施設でも、チームの一員としての判断力や行動力を養える努力をしましょう。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。					

臨床・臨地実習 V	歯科衛生学科		3年前期			
	1単位		実習	45時間		
[教員]：久本 たき子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	総合病院の「歯科・口腔外科」における見学実習					
授業方法	総合病院の「歯科・口腔外科」において、口腔外科診療室を中心として見学実習を行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 有病患者に対する知識を備え、口腔外科の施術方法を列挙しその施術に必要な器具、器材の用途を述べる。(◎) 2. [知識・理解] 感染予防に対する知識及び対処法や器具の消毒・滅菌方法を理解する。(◎) 3. [関心・意欲・態度] 医療人として日常の健康管理に心がけ、主体的な実習を行い自学自習ができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実習日誌	30	-	-	-	30
	実習施設評価	50	-	-	-	50
	受講態度	-	-	-	10	10
	レポート提出状況	-	-	-	10	10
	合計	80	-	-	20	100
成績評価と割合	実習日誌 30%、実習施設評価 50%、受講態度 10%、レポート提出状況 10% の合計100%で評価します。					
テキスト	『最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔』医歯薬出版 『最新歯科衛生士教本 臨床検査』医歯薬出版					
参考書・教材	必要に応じ、1、2年生で購入したテキストを使用する。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	1. 総合病院実習前のオリエンテーションを行う。 2. 総合病院の「歯科・口腔外科」で5日間の見学実習を行う。 3. 前のグループからの申し送り実習終了後のフィードバックを行う。					
時間外での学習	総合病院での見学実習に安全に臨めるように、知識・技術の復習を行きましょう。また、事前に課題のレポートを記載し、知識を充実させて実習に臨んでください。					
受講学生へのメッセージ	学外実習は、理由を問わず欠席は認めません。欠席した日数は、必ず補います。各自健康管理には、十分気をつけてください。また、実習生という立場をわきまえて、謙虚な心と態度で実習に臨んでください。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。					

卒業研究		歯科衛生学科		3年前期		
		2単位		演習	60時間	
[教員]：岩田 千鶴子・村田 宜彦						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	歯科衛生士として広い視野を持つためには、常に課題探求能力の養成が求められる。自ら学ぶべき課題に対し、科学的に分析された情報をもとに研究する能力を習得する事を目的とする。 選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究計画を立案し、その計画に従って研究を行い、研究成果を卒業研究発表会にてプレゼンテーションするとともに、卒業研究報告書として作成し、専門的な知識や技術等を身につける内容としている。					
授業方法	調査・研究の授業であるので、図書館等にてテーマ選定や情報収集のため文献検索を行う。データの分析、処理はコンピューター室を使用し行う。研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 研究の目的、情報収集、文献検索、テーマ選択と卒業研究に関連する課題について、基本的な知識を理解できる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 共同研究者とともに系統立てた計画に基づき、調査・研究に挑み、試行錯誤しながら課題の解決に向け、プレゼンテーションの場において、その成果を表現することができる。(○) 3. [技能] 研究データの処理・分析、その結果を課題解決に結びつけて判断し活用することができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] プレゼンテーション用の資料を積極的に学修しながら作成し、発表・質疑応答に取り組むことができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	報告書作成	40	-	-	-	40
	発表(表現)	-	20	-	-	20
	発表(技能)	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	40	20	20	20	100
成績評価と割合	報告書作成 40%、発表(表現) 20%、発表(技能) 20%、受講態度 20% の合計100%で評価します。					
テキスト	なし					
参考書・教材	自分が選択したテーマにそって、図書館等で文献検索をして情報収集を行う。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	研究テーマについて考える。 [準備・課題] 卒業研究の目的について理解し、図書館、パソコン等で文献検索を行い、興味ある研究テーマをいくつか選択し、まとめる。(3~5h)					
2	研究テーマを決定する。 [準備・課題] 文献検索により情報収集を重ね、それを基に研究テーマを決定し、まとめる。(3~5h)					
3	研究計画を検討し策定する。 [準備・課題] 研究テーマに基づき、対象、方法、結果の予測について検討し、計画を立てる。(2~5h)					
4	研究計画を最終的に策定する。 [準備・課題] 調査対象・方法において、具体的に調査用紙等を作成しデータ収集のための準備をする。(3~6h)					
5	研究テーマを基に、研究データの収集を行う。 [準備・課題] 研究倫理に沿って、インフォームド・コンセントのもと調査対象者等に対してデータ収集を実施する。(4h)					
6	収集した研究データの整理を行い、まとめる。 [準備・課題] データの整理を行い、パソコンにデータの入力を行う。(2~4h)					
7	収集した研究データを分析し、まとめる。 [準備・課題] 入力データに対して、統計学的処理を行い、データ分析を行う。(3~6h)					
8	前回到続き、研究データの分析を行い、まとめる。 [準備・課題] 研究データ分析の結果をもとに、他文献と比較し様々な角度からの分析の必要性について検討する。(3h)					
9	分析結果を検討し、まとめる。 [準備・課題] データ分析の結果を、研究目的と照らし合わせながらまとめ、結論を導く。(3~6h)					
10	プレゼンテーション用資料の作成を行う。 [準備・課題] パワーポイントを使用し、研究目的、対象、方法等の資料作成を行う。(3~6h)					
11	前回、作成した資料を基に検討し、プレゼンテーション用資料の完成に向けまとめる。 [準備・課題] パワーポイントを使用し、結果についてグラフや表などの資料作成を行う。(3~6h)					
12	プレゼンテーション用資料をまとめ、完成させる。 [準備・課題] パワーポイントを使用し発表全体の資料を完成させ、発表原稿を作成する。(3~6h)					
13	研究報告書の内容を検討し、報告書の作成を行う。 [準備・課題] 緒言、対象、方法、結果について論文形式で報告書の作成を行う。(3~4h)					
14	前回作成した研究報告書を再度検討し、次回の完成に向けてまとめる。 [準備・課題] 先行文献と比較検討して考察を行い、結論、参考文献に記載をする。(4h)					
15	研究報告書について重ねて検討し、完成させる。 [準備・課題] 研究報告書全体を見直し、内容、体裁ともに確認をして完成させる。(3~6h)					
時間外での学習	各回の卒業研究の課題に対して、図書館やパソコン等で文献検索や情報収集を行い、発表、報告書の作成に至るまでの準備学習をしてください。わからない点、疑問点は自ら調べ、解決への努力をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、研究室を訪ねてください。					
受講学生へのメッセージ	将来、広い視野と課題解決能力を持った歯科衛生士となるために、自らが積極的に卒業研究に取り組んでください。また、質問して解決することも必要です。 オフィスアワーは研究室(岩田G206、村田G205:G号館2F)で毎週木曜日の16:20~17:30です。					



歯科総合演習 I		歯科衛生学科		3年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：石川 隆義・岩田 千鶴子・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・村田 宜彦・飯岡 美幸・縄田 理佳・三角 洋美・今井 藍子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識を身につけるよう進める。尚、前期においては専任教員全員が担当する科目を中心とする。					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	1. [知識・理解] 口腔保健分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。(◎) 2. [知識・理解] 問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。(◎) 3. [知識・理解] 問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	100	-	-	-	100
	合計	100	-	-	-	100
成績評価と割合	筆記試験 100% で評価します。 3分の1以上欠席及び、課題未提出の学生には単位を与えません。					
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科+臨床歯科医学問題集 第2版』一般社団法人 口腔保健協会(売店で購入してください)					
参考書・教材	各科目で使用したテキストを使用します。必要な資料は適宜配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション：国家試験対策のための取り組み方。課題について(担当：全員) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	病理学についての重要事項を述べる。(担当：石川隆義) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	栄養学についての重要事項を述べる。(担当：久本たき子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	歯科予防処置(1)：予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当：三角洋美) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当：阿尾敦子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	保存修復学・歯内療法学・歯周病学についての重要事項を述べる。(担当：岩田千鶴子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	歯科補綴学についての重要事項を述べる。(担当：岩田千鶴子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	口腔外科学についての重要事項を述べる。(担当：村田宜彦) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	小児・矯正歯科学についての重要事項を述べる。(担当：石川隆義) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科診療補助(1)：臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。(担当：水嶋広美) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当：飯岡美幸) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。(担当：縄田理佳) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当：今井藍子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科保健指導(2)：食事指導法、在宅訪問歯科指導、高齢者歯科に関する重要事項を述べる。 (担当：久本たき子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	解剖・口腔解剖学：解剖・口腔解剖学についての重要事項を述べる。(担当：村田宜彦) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学習	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問がある場合は必ず担当教員を尋ねて早期に解決するようにしてください。又、決められた課題は、必ず期限までに行い提出するようにしてください。					
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士国家試験への対応は、できるだけ多くの問題に触れ、それを繰り返し学習することが重要です。毎日取組めるように学習の習慣を身につけてください。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					

歯科総合演習Ⅱ		歯科衛生学科		3年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：石川 隆義・岩田 千鶴子・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・村田 宜彦・飯岡 美幸・縄田 理佳・三角 洋美・今井 藍子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識を身につけるよう進める。 尚、後期においては専任教員および非常勤講師全員で歯科衛生士国家試験に関わる全科目の授業を行う。					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	1. [知識・理解] 口腔保健分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。(◎) 2. [知識・理解] 問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。(◎) 3. [知識・理解] 専門基礎・臨床歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。(◎) 4. [知識・理解] 問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	100	-	-	-	100
	合計	100	-	-	-	100
成績評価と割合	筆記試験 100% で評価する。 筆記試験の合格は、6割5分以上とします。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は単位を与えません。					
テキスト	歯科衛生士国試問題研究会編：『徹底分析！年度別 歯科衛生士国家試験問題集』医歯薬出版(売店で購入してください) 全国歯科衛生士教育協会編集：『歯科衛生士のための主要3科+臨床歯科医学問題例集』口腔保健協会(売店で購入してください)					
参考書・教材	1年、2年時において学んだ歯科衛生士国家試験に関わる全ての科目の歯科衛生士教本 必要な資料は適宜配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	解剖学、口腔外科・歯科麻酔学、生化学、障がい者歯科についての重要事項を述べる。(担当：村田宜彦) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	小児・矯正歯科学、病理学についての重要事項を述べる。(担当：石川隆義) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	生理学(担当：佐藤慶太郎)、口腔生理学(担当：糸尾浩尚)についての重要事項を述べる。 [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	微生物学についての重要事項を述べる。(担当：朝井康行) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	薬理学についての重要事項を述べる。(担当：坂井隆之) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	口腔衛生学、歯科衛生士概論についての重要事項を述べる。(担当：塚本敦子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	衛生学・公衆衛生学、衛生行政社会福祉学(担当：亀山洋一郎・北嶋勉)についての重要事項を述べる。 [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	歯科予防処置(1)：歯周病学、予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当：三角洋美) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当：阿尾敦子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科臨床概論、保存修復学・歯内療法学・歯周病学、歯科補綴学についての重要事項を述べる。 (担当：岩田千鶴子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科診療補助(1)：歯科衛生士概論、臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。 (担当：水嶋広美) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当：飯岡美幸) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。(担当：縄田理佳) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当：今井藍子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	歯科保健指導(2)：栄養学、高齢者歯科学、についての重要事項を述べる。(担当：久本たき子) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学習	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。夏期休暇直前に全員が購入する問題集(2冊)を夏期休暇中に自学自習し終えるようにしてください。					
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた2冊の問題集を、夏期休暇中に計画を立て学習して下さい。問題に触れることでより理解力するようにしてください。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					